殺菌剤
トリホリン乳剤

サンケイセーフガード®乳剤

農林水産省登録　第24856号

性状：淡黄色澄明可乳化油状液体
毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称）
危険物： 第四類第二石油類
有効年限：3年
包装：500mℓ×20

有効成分：トリホリン（化管法第1種）・・・・・18.0%

殺菌剤分類 3

セーフガード®はZMクロッププロテクション(株)の登録商標です。

特長

○うどんこ病、葉かび病、さび病、黒星病等の病害に高い効果を示します。
○予防効果と治療効果を兼ね備えた殺菌剤です。
○高い浸達性を有するため、安定した効果が期待できます。
○拡展性に優れ、薬液が作物の隙間や菌そうの間にもむらなく入り込みます。また短時間で薬液が乾きます。
○作物に対して汚れの少ない薬剤です。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリホリンを含む農薬の総使用回数
かき	うどんこ病	1000倍	200～700ℓ/10a	収穫14日前まで	4回以内	散布	4回以内
もも	灰星病	800～1000倍	200～700ℓ/10a	収穫前日まで	5回以内	散布	5回以内
いちご	炭疽病	500倍	100～300ℓ/10a	定植前	3回以内	散布	8回以内（定植前は3回以内、定植後は5回以内）
	うどんこ病	2000倍		収穫前日まで	5回以内		
メロン	うどんこ病	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	6回以内	散布	6回以内
きゅうり なす	うどんこ病	1000～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	5回以内	散布	5回以内
ピーマン	うどんこ病 斑点病	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
トマト	葉かび病 すすかび病 うどんこ病	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
さやえんどう	うどんこ病	1500倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
ねぎ	さび病	800～1000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	5回以内	散布	5回以内
しそ	さび病	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
食用ぎく	白さび病	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫14日前まで	5回以内	散布	5回以内
花き類・観葉植物（ばら、きく、トルコギキョウを除く）	うどんこ病	1000倍	100～300ℓ/10a	発病初期	5回以内	散布	5回以内
きく	白さび病	1000～1500倍	100～300ℓ/10a	発病初期	5回以内	散布	5回以内
ばら	うどんこ病 黒星病	1000倍	100～300ℓ/10a	発病初期	5回以内	散布	5回以内
トルコギキョウ	斑点病 うどんこ病	1000倍	100～300ℓ/10a	発病初期	5回以内	散布	5回以内
樹木類	うどんこ病	1000倍	200～700ℓ/10a	発病初期	5回以内	散布	5回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリホリンを含む農薬の総使用回数
芝	さび病	1000倍	1～2ℓ/㎡	発病初期	6回以内	散布	6回以内
日本芝 西洋芝 （ベントグラス）	フェアリーリング病	1000倍	10ℓ/㎡	発病初期	6回以内	散布	6回以内

使用上の注意事項

●使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
●石灰硫黄合剤、ボルドー液等アルカリ性薬剤及び微量要素肥料との混用はさけてください。
●カラー及び花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しないでください。また、使用後14日間は入水しないでください。
●花き類・観葉植物、樹木類に使用する場合、着蕾期～開花期の散布は花に薬害を生じるおそれがあるので、蕾や花弁にかからないよう注意してください。
●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
●ばらに使用する場合、品種（クィーンエリザベスなど）によっては高温乾燥時には薬害を生じるおそれがあるので、所定の使用濃度を厳守するとともに、夏期などの高温時には朝夕の涼しい時に散布してください。
●メロン、いちごには薬害を生じるおそれがあるので、所定の散布濃度を厳守してください。
●いちごに使用する場合、品種「芳玉」には薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
●野菜に使用する場合、高温時や幼苗及び軟弱ぎみの栽培条件となっている場合には、薬害を生じるおそれがあるので使用はさけてください。
●きくに使用する場合、品種（新精興など）、作型（促成栽培など）によっては散布後の新生葉に奇形などを生じるおそれがあるので留意して使用してください。特に初めて使用する品種、作型ではあらかじめ小面積で試用して使用条件下での薬害の有無を確認するなど、注意して散布することをおすすめします。
●本剤はなし（幸水系、晩三吉等）に対して極微量で薬害を生じるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布してください。また、同一の散布器具、容器を用いてなしに薬剤散布をしないでください。やむをえず本剤使用後の散布器具をなしに使用する場合には、薬液タンク、散布器具、配管部分、ホース等の内部を十分に洗浄したのち、更にその散布器具を用いて、散布を予定しているなしのすべての品種の新葉の少数（数枚程度）に清水を散布し、7日程度おいたのち薬害を生じないことを確認した上で使用してください。
●本剤は自動車や壁などの塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。

安全使用上の注意事項

●誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。
●本剤は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。
眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
●本剤は皮膚に対して刺激性があるので、散布液調製時及び散布の際は不浸透性手袋、ゴム長靴、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
●街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
●危険物第四類第二石油類に属するので、火気には十分注意してください。

水産動植物に係る注意事項

●水産動植物(魚類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

保管に関する注意事項

●火気をさけ、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管してください。但し、過度な低温条件下では沈殿を生じるおそれがあるのでさけてください。